九州地方

名前

問1　鹿児島県周辺に広がるシラス台地において、古くから稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、または畜産が盛んに行われてきた理由として最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

1. 土壌に含まれる有機物が多すぎて、稲の成長が早すぎるため。
2. 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。
3. 土壌が非常に硬く、田を耕すことが困難であるため。
4. 標高が高く、夏でも気温が上がらず冷害が発生しやすいため。

問2　九州地方の阿蘇山に見られる、火山活動によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。また、その周辺にある別府などの地域で、火山の熱を利用して発達している観光資源として最も適切なものを選びなさい。（2023年 茨城県公立入試 類似）

1. カルデラがあり、広大な水田地帯が広がっている
2. リアス海岸があり、真珠の養殖が盛んに行われている
3. 盆地があり、ブドウやモモの栽培が盛んに行われている
4. カルデラがあり、豊富な温泉が湧き出ている

問3　九州地方の周辺を流れる海流が、地域の生活や気候に与える影響について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. 北からのリマン海流が九州の日本海側に冷たい水を運ぶため、冬の九州北部は北海道と同じくらい寒冷になる。
2. 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。
3. 太平洋側を流れる親潮の影響で霧が発生しやすくなり、夏でも気温があまり上がらない冷涼な気候となる。
4. 日本海を南下する対馬海流が、九州地方に乾燥した冷たい空気を運んでくるため、冬は降水量が非常に少なくなる。

問4　九州地方の自然環境とエネルギー利用について、火山の分布と関連の深い発電方式の特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選択してください。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 石炭や天然ガスを燃焼させて得た熱で蒸気を作り、タービンを回して大量の電力を得る方式
2. 火山地帯の標高が高い地域に大型の風車を設置し、地形によって強まる風の力を利用して発電する方式
3. 火山の斜面を流れる急峻な河川にダムを建設し、水の落下するエネルギーを利用して発電する方式
4. 火山の地下にあるマグマの熱によって生じた天然の蒸気を利用し、タービンを回して発電する方式

問5　宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
2. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。
3. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
4. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。

問6　九州の北方に位置し、古くから日本列島と朝鮮半島を結ぶ海上交通の中継地となってきた島と、その付近を通り日本海へと流れ込む暖流の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 壱岐・対馬海流
2. 壱岐・日本海海流
3. 対馬・対馬海流
4. 対馬・リマン海流

問7　宮崎県などの温暖な気候を利用する地域で盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何といいますか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 近郊農業
2. 抑制栽培
3. 促成栽培
4. 有機農業

問8　かつて深刻な大気汚染などの公害を経験しましたが、その克服の歴史を活かし、現在はリサイクル産業などを集積させた「エコタウン」事業を推進している地域があります。九州地方の北部に位置し、官営八幡製鉄所の稼働以来、日本の工業を支えてきたこの都道府県はどこですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 福岡県
3. 兵庫県
4. 広島県

問9　九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工
2. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業
3. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培
4. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培

問10　鹿児島県において、県庁所在地の周辺に広がり、大規模な住宅団地などが造成されている、火山噴出物が堆積して形成された台地を何と呼びますか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. シラス台地
2. 牧之原台地
3. 武蔵野台地
4. カルスト台地

問11　多数の半島や島々を含み、海岸線が複雑に入り組んでいる長崎県の地形的・気候的背景と、それに基づいた農業の仕組みについて説明したものとして正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 広大な平野と火山の火山灰土を活かし、機械化された大規模な農地で小麦や大豆の生産が中心となっている。
2. 複雑な海岸線により冬の冷え込みが厳しいため、ビニールハウスを用いた促成栽培による野菜出荷が平野部で展開されている。
3. 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。
4. 火山の影響で水はけが良すぎるため、稲作はほとんど行われず、砂丘地での乾燥に強い作物の栽培が主となっている。

問12　九州地方に位置し、人口が約163.7万人である県の農業の特色について述べます。この県は、農業産出額が約4435億円と九州の中でも非常に高く、その内訳を見ると畜産が約2837億円と、産出額全体の半分以上を占めています。このような産業構造を持つ県はどこですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 鳥取県
2. 鹿児島県
3. 宮崎県
4. 沖縄県

問13　九州地方南部に位置する鹿児島県では、火山噴出物が堆積して形成されたシラス台地が広く分布しています。この土地の「水はけが良すぎる」という性質を背景として、古くから稲作が制限されてきた代わりに発達した、鹿児島県の農業産出額の半分以上を占める主要な農業部門は何ですか。（2024年 山口県公立入試 類似）

1. 豊富な地下水を利用した稲作
2. 温暖な気候を活かした果樹栽培
3. 近郊農業による野菜栽培
4. 広大な土地を利用した畜産

答え合わせ・解説

問1	答え 2 土壌の保水力が低く、水が地中にしみ込みやすいため。	シラスは火山から噴出した粒子の集まりであり、粒と粒の間に隙間が多いため、水を通しやすいという性質を持っています。そのため、水田に必要な水を溜めておくことが難しく、乾燥に強い作物を中心とした畑作が発達しました。
問2	答え 4 カルデラがあり、豊富な温泉が湧き出ている	阿蘇山は、噴火によって地下のマグマが噴き出した後に地表が陥没してできた「カルデラ」という地形で知られています。火山活動は災害をもたらす一方で、地下水が熱せられることで「温泉」という恵みをもたらし、大分県の別府や熊本県の阿蘇周辺ではこれらが重要な観光資源となっています。
問3	答え 2 赤道付近から北上してくる黒潮や対馬海流が暖かい空気を供給するため、冬でも比較的温暖な気候となる。	九州地方は、太平洋側に黒潮（日本海流）、日本海側に対馬海流という2つの暖流が流れています。暖流は周囲の空気を暖める性質があるため、これらの海流の影響を受ける九州地方の沿岸部では、冬でも氷点下になる日が少なく、温暖な気候が保たれます。選択肢にあるリマン海流や親潮は寒流であり、これらは主に北日本などの気候に影響を与えるものです。
問4	答え 4 火山の地下にあるマグマの熱によって生じた天然の蒸気を利用し、タービンを回して発電する方式	九州地方は「火の国」とも呼ばれるように、活発な火山活動が見られる地域です。地下に存在するマグマの熱を直接エネルギー源とする地熱発電は、天候に左右されず24時間安定した発電が可能であるという利点があります。温泉や観光資源としての活用とともに、火山地帯特有の持続可能なエネルギー源として重要な役割を担っています。
問5	答え 1 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問6	答え 3 対馬・対馬海流	九州の北方に位置する対馬は、朝鮮半島との距離が近く、古くから外交や貿易の要衝としての役割を果たしてきました。この対馬の近海を通り、東シナ海から日本海へと北上する暖流は対馬海流と呼ばれます。選択肢にある壱岐は対馬と九州本土の間に位置する島であり、リマン海流は日本海を南下する寒流のことです。
問7	答え 3 促成栽培	宮崎県や高知県といった冬でも温暖な地域では、その気象条件を活かして他の地域より早く作物を育てる工夫がなされています。ビニールハウスなどを活用することで、本来の旬よりも早い冬から春にかけて出荷することが可能になります。
問8	答え 2 福岡県	福岡県の北九州工業地帯は、高度経済成長期に深刻な公害問題を抱えましたが、市民や企業の努力によって克服しました。その経験から、現在は資源のリサイクルを進める「エコタウン」の取り組みが世界的に評価されており、環境共生型の都市づくりが進められています。
問9	答え 2 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業	鹿児島県の大半を覆うシラス台地は、水分を保持しにくい性質があるため、水田稲作よりも畑作に適しています。このため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した肉用牛・豚・鶏（ブロイラー）などの畜産業が組み合わされ、全国有数の農業地帯となりました。他の選択肢のうち、促成栽培は宮崎平野や高知平野、果樹栽培は愛媛県や和歌山県、大規模な酪農は北海道などで顕著に見られる特色です。
問10	答え 1 シラス台地	南九州に広く分布する、火砕流堆積物が重なってできた台地をシラス台地と呼びます。水持ちが悪いため稲作には不向きですが、鹿児島市周辺では宅地造成が進み、多くの市民が暮らす住宅地となっています。なお、カルスト台地は山口県の秋吉台などが有名で、牧之原台地は静岡県のお茶の産地として知られています。
問11	答え 3 平野部が少なく険しい地形が多いが、温暖な気候を活かして、火山の裾野や傾斜地でばれいしょや果樹の栽培が行われている。	長崎県は雲仙岳などの火山があり、多くの半島が突き出しているため、大規模な平野が少ないのが特徴です。そのため、傾斜地を有効に利用した農業が発達しました。特に温暖な気候条件は、ばれいしょ（じゃがいも）の二毛作（同じ土地で年に2回栽培すること）を可能にしており、地形的な不利を気候条件で補う形で特色ある農業が展開されています。
問12	答え 2 鹿児島県	九州地方南部に位置するこの県は、火山噴出物からなるシラス台地が広く分布しています。シラス台地は水持ちが悪く稲作には不向きであったため、広大な土地を活かした畑作や畜産業が発展しました。現在では、肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）の飼育頭数がいずれも全国トップクラスであり、農業産出額において畜産が占める割合が極めて高いことが特徴です。
問13	答え 4 広大な土地を利用した畜産	鹿児島県に広がるシラス台地は水持ちが悪く、大規模な水田稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地を有効に活用できる畜産業が発展し、現在では肉用牛、豚、鶏の飼養頭数・羽数が全国屈指の規模を誇る日本代表的な畜産県となりました。統計上でも農業産出額の約65%を畜産が占めています。